

平成30年度

大学生まちづくりチャレンジ事業

伊島学区における 放課後児童クラブと地域との 協働事業



岡山県立大学 地域子ども・子育て応援団

1. 地域における課題



現状

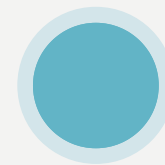
- 放課後児童クラブを必要とする子育て家庭の増加
- 土曜・長期休業中の保育は長時間となり近隣の公園利用が不可欠



課題 1

地域との協働体制

地域と放課後児童クラブとの協働体制は十分とは言えず、近隣公園の使用方法や騒音等でのトラブルがある



課題 2

専門スタッフ確保

慢性的な人手不足を解消するための有効な手立てを模索するが解消できていない状況

放課後児童クラブと地域の緩衝材として大学生が主体となり、活動やイベントを企画し、放課後児童クラブと地域との関係を繋ぐ取り組みにチャレンジする！

2. 活動の報告

- ①学生企画のイベントや公園での活動を通して放課後児童クラブと地域の交流
- ②学生と放課後児童クラブと地域が協働し、地域のセーフティーネットを拡充

大学生による地域の公園、岡山県総合グラウンドを利用した遊び場づくりや交流イベントを行い伊島学区の子どもとの交流

学生と子どもが学区内の交通事故・転落・不審者等、身近な町の危険について考え、危険を察知する力を育てることを目的に地域安全マップを作成

学生・地域住民・保護者が参加できる身近な危険や地域コミュニティの重要性に関する研修会を実施し、放課後児童クラブについて理解を深める

3. 遊び・交流イベント

- ・活動日時

2018年12月15日

- ・活動内容

「朝日こどもクラブ」のこどもたちとともに、岡山県総合グラウンドで、ドッチビーや長縄跳びなどで遊び、交流を行った。

広い場所を活かし、思い切り体を動かしながら遊んだ。



この活動は山陽新聞にも取り上げられた。

4. 地域安全マップづくり活動

- 活動日時

2018年 8月21日～8月29日

- 活動内容

「朝日こどもクラブ」の子どもたちとともに、伊島学区を散策し危険な箇所を調べた。

- 危険な箇所は画像とメモで記録
- 学生と共に調べた内容について検討
- 子どもが模造紙にまと安全マップを作製

地域安全マップ報告会の様子



自分たちが発見した「危険」について解説しています。



仲間の発表を真剣に聞いています。

5. 活動を通しての子ども学び

- ・ 地域で遊ぶことで、地域への親しみが生まれ、自分の町や地域の人への愛着が深まった。
- ・ 子どもたちは、自分の安全は自分で守るという意識を持つことができた。
- ・ 子ども同士でも危険な理由や災害が起きたときにはこんなことが起きるなど、想像しながら主体的にマップ作りに参加できた。

6. 活動を通しての学生の学び

- 子どもは地域の良さや特色をよく知っている。
- 子どもと地域を繋ぐ役割の重要性を感じた。
- 気づかない身近な危険個所を発見できた。
- 育ちの理解だけでなく、安全教育の方法や重要性を、実践的な経験を通して学ぶことができた。

7. 今後の課題

- ・ 放課後児童クラブが地域のセーフティーネットとなることで、放課後の身近な公園が子どもの遊び場として再生し、地域コミュニティが安心安全に広がるようにする。
- ・ 地域と子ども達を繋ぐことができるよう、子どもたちが楽しんで参加できるように支援員の方と相談しながら継続的に計画を進めることが必要である。

ご清聴ありがとうございました。

